

単機能コアドリル

E&S

SDS-max

(回転変換シャンク)

取扱説明書

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
製品を「より安全に」「より効果的に」ご使用頂くために、必ずこの取扱説明書をお読みください。また、この取扱説明書は、製品を廃棄されるまで大切に保管してください。

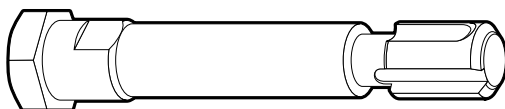
ご使用方法

7. 全般共通

- ①ご使用になる前に、作業場の周囲に干渉物がないよう注意し、かつ安定した足場を確保してください。
また、今一度「製品に異常はないか」「対象穿孔材とコアの刃先」「電動ドリルの選定、使用モード(回転・振動など)は間違っていないか」を確認し、適正な状態にしてご使用ください。
 - ②電動ドリルにコアを取り付ける前に、「電動ドリルの始動スイッチが切れていること」「電源用コンセントが抜いてあること」を確認し、取り付けてください。
 - ③SDS-maxハンマードリルのチャッキング部にしっかりと挿入してください。
 - ④電源を入れ、穿孔すべき位置の中心にセンタードリルの先端を合わせ、電動ドリルの始動スイッチを入れてください。その際、センタードリルやシャンク、ボディ部に著しい振れがある場合、各部のセットの仕方などを再確認してください。
 - ⑤穿孔が完了するまで、できるだけ電動ドリルの回転数を落とさないように作業してください。
- ※強く押付けると回転数が下がり、穿孔効率が下がります。適当な押し付けで回転数を一定に保つことで、穿孔時間が短縮され、工具寿命も安定します。



SDS-maxハンマードリルで、回転モード使用が可能になる特殊設計シャンクです。



打撃力をキャンセルする特殊寸法採用



本製品は回転使用専用の製品となっております。本製品のSDS-maxシャンクは、打撃を伝えず回転のみを行う回転変換シャンクとなっております。

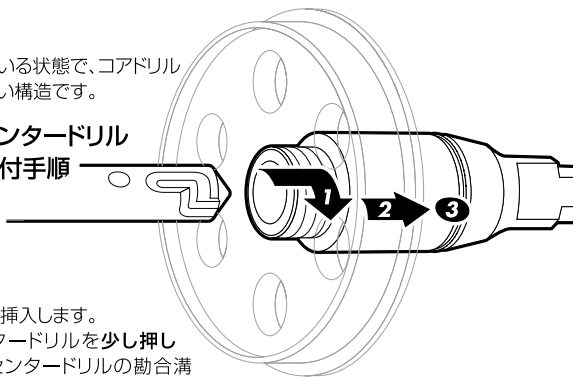
2. センタードリル交換の仕方

穴あけ作業中、センタードリルが被削材に喰い込んでいた状態で、コアドリルを反時計回りに回転させてもセンタードリルが外れ難い構造です。

●センタードリルの取外し

- ①センタードリルを軽く引張り反時計回りに60°回転させますと、シャンク内部でセンタードリルが外れた状態になります。
- ②そのまま引き抜いてください。センタードリルは簡単に外れます。

センタードリル
取付手順



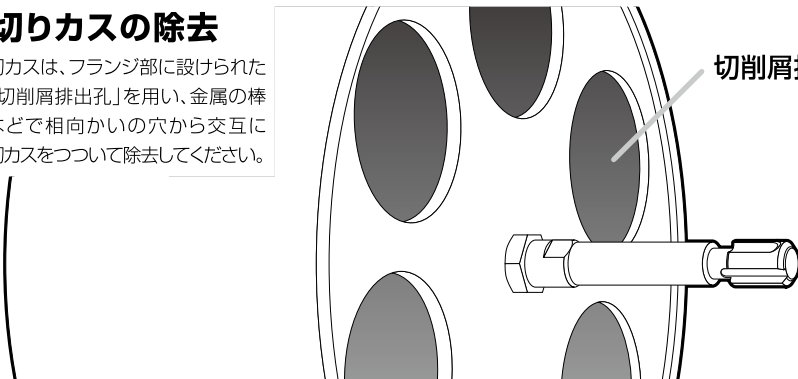
●センタードリルの取付け

- ①センタードリルをシャンクのコアドリル穴に深く挿入します。
- ②シャンク内にある突起に突き当たったら、センタードリルを少し押し込みながら時計回り方向に回しますと、突起とセンタードリルの凹凸溝が合い、センタードリルは更にシャンクの奥まで入ります。
- ③センタードリルが奥まで入った所で、更に時計回りに60°回しながら押し込むとセット完了です。

3. 切りカスの除去

切りカスは、フランジ部に設けられた「切削屑排出孔」を用い、金属の棒などで相向かいの穴から交互に切りカスをつついて除去してください。

切削屑排出孔



4. ALCコアでの穿孔 [回転専用]

穿孔中铁筋に当たった場合、穿孔音が変わります。その時は絶対に押し付けず軽い音が出る程度に回転数を保ったまま穿孔を続けてください。しばらくすると鉄筋の切断は終了します。



鉄筋切断中は、強く押し付けしないでください。
刃先が鉄筋に噛み込み刃先を傷めると同時に大変危険です。

5. 乾式ダイヤコアでの穿孔 [回転専用] ※ヒューム管専用含む

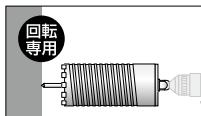
- ①刃先が3~5mm穿孔したら、一時穿孔を中断してください。
- ②センターピンを外したのち、切り込んだ円形溝にコアの刃先を合わせ、再び穿孔を開始してください。
- ③穿孔中は電動ドリルの回転数をできるだけ落とさないよう穿孔してください。

●ダイヤモンドコアは他のコアと違い「研削」で穿孔しますので「回転数の高い電動ドリル」を使用し「電動ドリルの回転数をできるだけ落とさない」よう穿孔するのがコツです。

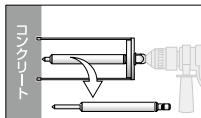
●切粉の排出が悪い時など、コアを回転させながら穿孔穴から抜け出さない程度に穿孔方向に「引いたり」「押したり」すると切粉がより排出されます。

●切れ味が落ちてきたら刃先の目立て（ドレッシング）を行ってください。刃先のダイヤが摩耗したり、脱落すると切れ味が落ちてきます。ブロックなどを数回穿孔すると、刃先のダイヤを保持しているボンドが削られ、新たなダイヤが突出してきて切れ味が回復します。

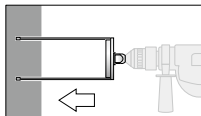
乾式ダイヤコアの作業手順



1. しっかり押さえて電動機のスイッチを入れる。
[回転モード]



2. 刃先が5mm程入った時、電動機を止め、センターピンをははずす。



3. 円形溝にボディを軽く押し付け、穴あけを開始する。



素手でセンタードリル、センターピンを引き抜くと、指や手を怪我する場合がありますので必ず手袋を着用してください。

対象物・電動ドリル別適合表

対象物		E&S	ALC用 ALC	複合材用 FC	乾式 ダイヤ DC	備考 ◎……最適 ○……適
		コンクリート				○
ブロック・レンガ					○	
モルタル					○	
A L C		◎				
硬質サイディングボード					○	
石 材					○	刃先を冷却しながらご使用ください。
木 材			◎			
合 板			◎			
石膏ボード		◎	○			
軟質サイディングボード			○			
塩ビ板			○			
F R P			○			
薄鉄板・アルミ			◎			
金属系サイディングボード			○			
樹脂系人造大理石					○	刃先を冷却しながらご使用ください。
2×4(釘入り)			◎			
ガルバリウム鋼板			◎			
ステンレス薄板			◎			
ヒューム管					◎	
電動機	SDS-maxハンマードリル	●	●	●	●	回転変換シャंक仕様
部品	センタードリル	●	●			
	センターピン				●	

保 守 ・ 管 理

- ①ご使用後は、付着しているゴミなどを綺麗に拭き取ってください。
- ②長時間ご使用にならない場合はゴミなどを綺麗に拭き取った後、潤滑防錆スプレーなど防錆効果のあるものを塗布しておいてください。
- ③その他ご不明の事がございましたら、最寄りの弊社営業所へお問い合わせください。

安全上の注意



警告

●作業に適した服装で作業を行ってください。特に切り屑等が目に入らないように、保護メガネを着用してください。

- 作業環境を整えてから作業を行ってください。高所、可燃性物質のある所、暗所、雨中、湿地での作業は足場確保、落下防止、引火防止、感電防止などの安全を確保してから行ってください。
- 使用前、製品に損傷がないかを点検し、損傷があるときは絶対に使用しないでください。
- 電動機に着脱する際は、始動スイッチが切れていることを確認し、必ず電源プラグをコンセントから抜いた後、行ってください。
- 工具を電動機に取付けた後、穴あけ作業時以外は空転させないでください。
- 穿孔時の摩擦により製品本体、切り屑、穿孔面は高温になっております。絶対に素手では触れないでください。
- 改造は絶対にしないでください。
- 回転中の回転部分、特に刃先には絶対に手を触れないでください。
- 回転中に異常を感じたときは、作業を中止し、製品・電動機を点検してください。
- 記載用途以外の使用は、メーカーに必ずお問い合わせください。
- 使用する電動機の取扱説明書をよくお読みになった上でご使用ください。



注意

●作業者以外は作業場の周囲に近づけないでください。

●刃先は鋭利ですので、素手では触れないでください。

- 部品交換、組立時は取扱説明書をよくお読みください。
- 交換部品は製品の仕様に適合するものをご使用ください。
- 使用する電動機仕様にあった製品・サイズをご使用ください。
- 口径180mm以上をご使用の場合、電動工具に大きな負荷がかかりますので、高負荷による回転低下・変動が起こらないよう回転音を確認しつつ、ゆっくりと切り込んでください。
- 穿孔作業で高負荷な状態を続けると、電動工具のモーターの焼付きを起し、破損する危険がございます。

製品の品質に関しましては万全の体制で取り組んでおります。万一、欠陥・不良等の場合には、お手数ですが、製品と当取扱説明書を添えてご購入店にお持ち下さるか、弊社本社宛に発送してください。また、本製品は改良のため、仕様および形状を予告なく変更することがあります。ご了承ください。

unika
ユニカ株式会社

〒101-0032 東京都千代田区岩本町2-10-6

TEL.03-3864-8711 FAX.03-3864-7746

東京／大阪／福岡／仙台／名古屋／北海道／岩手／群馬

2004A00UN-PDF